



シリーズ：人権を考える②

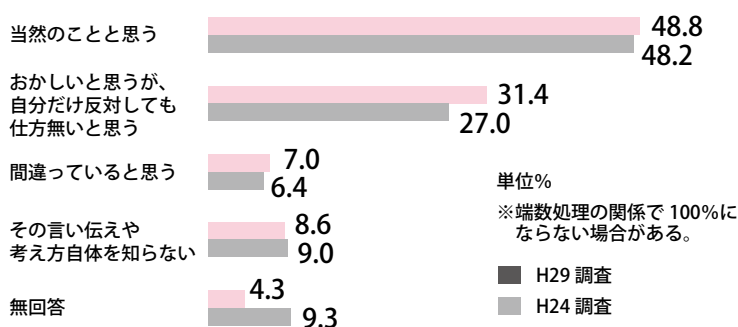
=人権尊重社会の実現をめざして=

根拠のない迷信や慣習は、 偏見や差別につながります

前回に続き、『安来市人権に関する市民意識調査』の結果をお伝えします。今回は、風習・慣習に関する意識についてです。(詳しくは市のホームページで確認いただけます。)

▲平成31年カレンダー。「友引」「大安」「仏滅」など暦に書き込まれている六曜は、江戸時代に広まった日の吉凶についての迷信のこトです。

「葬儀は『友引』の日を避ける」についてあなたはどのように思いますか？



⇒「当然のことと思う」「仕方がない」を合わせると、5年前調査と変わらず8割以上の人、六曜を肯定的に答えていました。

【解説】明治政府は、「六曜は根拠のない迷信である」とし、また、戦後には当時の文部省で六曜等の迷信をなくすことが取組まれました。

合理的根拠のない迷信を信じ事実無根の風評を受け入れる態度は、人に対して偏見をもって見たり差別したりすることにつながりかねません。

市では人権啓発の一環として出前講座を実施しています。DVD 試聴や体験型の研修で、皆さんの身近な問題について考えてみませんか。詳しくは人権施策推進課(☎23-3095)へ。



■「中国横断新幹線」の整備計画路線への格上げを目指し、設立準備会を開催しました

昨年10月29日、(仮称)「中国横断新幹線(伯備新幹線) 中海・宍道湖・大山圏域整備推進会議」設立準備会」の設立総会を開催しました。圏域市長会を構成する5つの市の市長が設立発起人となり、準備会の設立と今年度の事業計画などを確認しました。

今後は、同新幹線の基本計画路線から整備計画路線への格上げを目指し、圏域が一体となった幅広い活動の足がかりを確保する取り組みを進めます。

中海・宍道湖
・大山圏域
**市長会
通信⑨**

線から整備計画路線への格上げを目指し、圏域が一体となった幅広い活動の足がかりを確保する取り組みを進めます。

問い合わせ：圏域市長会事務局(☎0852-5515056)



清水寺紅葉館を取
材するプロガー

▼この他の取り組み

▼京阪神JRキャラバン

関西方面からの誘客を図るため、神戸駅など京阪神地区の主要駅において、圏域の観光PRを行いました(12/4・5)

▼圏域インバウンド対策事業

フランスからプロガーを招待し、圏域の観光資源を巡った後、WEBやSNSでその魅力を情報発信しました(12/8・10)

■中海・宍道湖・大山圏域伝統芸能祭を安来市で開催しました

昨年12月2日、伝統芸能の伝承と活用の気運を広めることを目的に伝統芸能祭を開催しました。圏域5市から6団体が出演し、多くの来場者に圏域の伝統芸能の魅力を存分に披露しました。

出演団体名(出演順) ▼安来市・安来節保存会 ▼米子市・米子がいな太鼓保存会 ▼出雲市・見々久神楽保存者会 ▼米子市・和田荒神こども太鼓 ▼松江市・佐陀神能保存会 ▼境港市・境さんこ節保存会

■「中国横断新幹線」の整備計画路線への格上げを目指し、設立準備会を開催しました

昨年10月29日、(仮称)「中国横断新幹線(伯備新幹線) 中海・宍道湖・大山圏域整備推進会議」設立準備会」の設立総会を開催しました。圏域市長会を構成する5つの市の市長が設立発起人となり、準備会の設立と今年度の事業計画などを確認しました。

今後は、同新幹線の基本計画路線から整備計画路線への格上げを目指し、圏域が一体となった幅広い活動の足がかりを確保する取り組みを進めます。

